

【効率的で質の高い医療提供体制の確保】

新	がん検診受診促進強化対策事業	21,660 千円
	誘ってがん検診キャンペーン推進事業	6,000 千円
	がん医療体制整備事業	89,177 千円
	がん相談支援体制整備事業	6,395 千円
新	アピアランスケア推進事業	6,400 千円
《医療政策課》		

趣 旨

「第3期山口県がん対策推進計画」に基づき、「がん検診の受診率向上」、「がん医療水準の向上」、「相談支援の充実」など、総合的ながん対策に取り組みます。

事業の概要

◇がん検診受診促進強化対策事業

検診受診率50%超をめざし、意識啓発やがん教育、受診環境整備等の取組を強化

<意識啓発・がん教育>

○がん検診普及啓発・受診勧奨強化事業

- ・がん征圧月間（9月）、やまぐちピンクリボン月間（10月）における全県的なキャンペーン等の実施

○がん教育充実事業

- ・小中高生を対象とした出前講座の実施

<受診しやすい環境整備>

○休日等がん検診受診促進事業

- ・県内全域における休日・平日夜間のがん検診実施体制確保（9月～12月実施）
〔対象検診〕

休日	乳がん・子宮頸がん（一次検診）大腸がん（要精密検査）
平日夜間	乳がん・子宮頸がん（一次検診）

新誘ってがん検診キャンペーン推進事業

家族や友人同士が誘い合ってがん検診を受診するキャンペーンを官民一体となって実施し、受診率向上への取組を強化

○誘ってがん検診キャンペーンの実施

- ・2人1組でがん検診を受診し、応募した組に抽選で特産品等を贈呈

○あらゆるチャンネルを活用した情報発信

- ・「やまぐち健幸アプリ」等の活用、官民一体となったPRイベントの開催等による情報発信



◇がん医療体制整備事業

様々ながんの病態に応じて質の高いがん医療を受けることができるよう、人材育成や体制整備を推進するとともに、がんの罹患状況の正確な把握を行うため、がん登録推進法に基づく全国がん登録の実施体制の整備を推進

<がん拠点病院体制整備>

○がん診療連携拠点病院機能強化事業

- ・がん診療連携拠点病院等が行う人材育成や、ネットワーク構築への支援

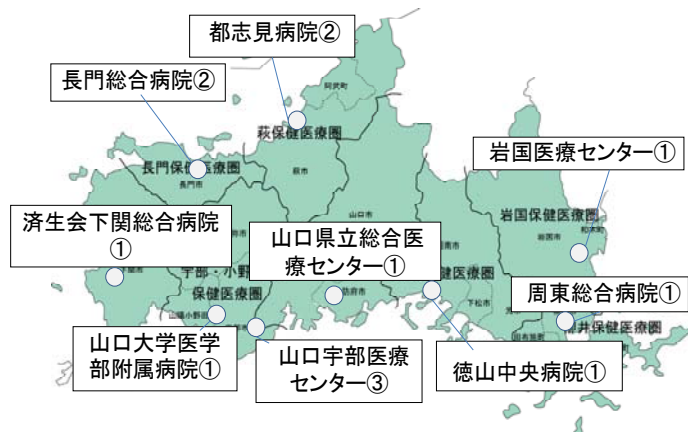
○がん医療人材育成事業

- ・がん専門医等の資格取得に係る経費助成

○がん診療施設施設・設備整備事業

- ・施設・設備整備への助成

県内のがん診療連携拠点病院等



注①がん診療連携拠点病院
②地域がん診療病院
③特定領域がん診療連携推進病院（肺がん）

<緩和ケアの推進>

○緩和ケア推進事業

- ・がん診療に携わる医師に対する緩和ケアの基礎的知識習得のための研修会や、県民対象の講演会の実施

<がん登録の推進>

○がん登録推進事業

- ・全国がん登録制度の運営やがん登録担当者に対する専門的研修会の実施

◇がん相談支援体制整備事業

がんになってもがんと向き合い、安心して暮らせるよう、がん患者、家族が抱える不安や悩みに対応できる相談支援体制や、患者等が必要とする情報提供を充実

<がん相談支援>

○がん相談支援体制強化事業

- ・がん患者と家族の多様な悩みに対応する「山口県がん総合相談窓口」の設置

○がん患者支援事業

- ・がん経験者による相談支援（ピア・サポート）推進のための研修の実施

<就労相談支援>

○就労相談・情報提供事業

- ・がん診療連携拠点病院のがん相談支援センターにおける、就労問題への専門相談の機能強化

新アピアランスケア推進事業

がん治療に伴う外見（アピアランス）の変化に対するケアを通じ、社会参加を支援し、がん患者のQOL向上への取組を強化

○アピアランスケア・就労相談支援研修会の実施

- ・がん相談支援センター相談員を対象に、アピアランスケア等相談スキルの向上や、産業保健総合支援センター等との連携強化のための研修会を開催

○アピアランスケア用品の購入費助成

- ・がん患者が抱えるアピアランスケアに伴う経済的不安の軽減や、社会参加（就労）の促進を図るため、アピアランスケア用品の購入費の2分の1（上限3万円）を助成

（アピアランスケア用品の例）

- ・医療用ウィッグ（かつら）：抗がん剤治療による脱毛等で一時的に着用するウィッグ
- ・補正下着：手術後の胸部を補正する下着
- ・バスタイムカバー：つけたまま温泉に入ることができる下着

